



2026年4月21日

各位

会社名 コムシスホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 田辺 博
(コード番号 1721 東証プライム市場)
問合せ先 取締役財務部長 真下 徹
(TEL: 03-3448-7100)

機関投資家株主との対話状況に関するお知らせ

当社は、コーポレートガバナンス・コードの趣旨を踏まえ、平時から機関投資家株主の皆様と積極的な対話を行っております。これらの対話状況ならびに当社の検討状況について適宜に情報開示を行うことで、対話を通じた企業価値向上につなげるべく、直近の対話状況についてお知らせいたします。

1. 対話状況（IR 面談件数）について

	合計件数／年間	うちバイサイド	うちセルサイド	決算説明会等
2026年3月期	248件	213件	35件	8回
2025年3月期	204件	168件	36件	3回
2024年3月期	168件	132件	36件	3回

※「決算説明会等」には、2025年3月期より参加している証券会社主催のカンファレンス、2026年3月期より開催しているスモールミーティングを含んでおります。

2. 対話内容および当社の検討状況について

当社では、直近の事業年度における機関投資家株主との対話において、上位保有の機関投資家株主を中心として、主に以下のようなご意見をいただいております。

(機関投資家株主からの主なご意見)

- ・ 当社の取締役会をモニタリングボードへ転換させることに関する要請（現在の当社ガバナンス体制は、監査等委員会設置会社であり、取締役11名中5名が独立社外取締役）
- ・ 具体的には、①取締役会に占める独立社外取締役の比率を過半数へと引き上げること、②経営経験のある独立社外取締役を登用するなど、より実効性の高いガバナンス体制を指向すること、③取締役会議長を独立社外取締役とすること、④指名・報酬諮問委員会の委員長を独立社外取締役とすること等

当社は、これまでも、取締役会の監督機能の実効性向上に向けて、取締役会の人数の減員および独立社外取締役比率の増加を実施して参りました。また、2025年5月に公表した新中期経営計画「コムシスグループ2030ビジョン」を策定するにあたって、機関投資家株主や投資家の意見を踏まえて重点施策や数値目標を明確化するなど、株主との対話内容を真摯に受け止めて経営判断に取り込んで参りました。今般、複数の機関投資家株主より、上述のような要請を受けたことを踏まえ、当社の中長期的な企業価値向上やコーポレート・ガバナンスの実効性の在り方について、さらなる検討を進めて参ります。

以上